

医療・介護・福祉・行政の多職種が連携し合い、住民の方が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう必要な体制づくりに取り組んでいます。



薩摩郡医師会在宅医療相談支援センターだより

# ひまわり



第38号 令和5年6月  
編集・発行 薩摩郡医師会在宅医療相談支援センター  
TEL(代表) 0996-53-0326(内380)  
(直通) 0996-53-4711(FAX兼用)

## お口いきいき診療連携システム(訪問歯科診療)について —様式改定と書式のダウンロード方法について—

いつも本会にご協力・ご助力いただきまして誠にありがとうございます。  
今回は、歯科訪問診療における申込書・報告書の様式改定と書式ファイルのダウンロード方法についてご紹介致します。

**お口いきいき診療連携システム**とは訪問歯科診療が円滑に開始できるように歯科医師会や歯科保健に従事する方々で作成したものです。県内の川薩地区以外の地区で連携システムが無く、訪問歯科診療の依頼などで苦慮していたケースがあったため、昨年、鹿児島県歯科医師会において、県内で統一した新様式を作成しました。少しずつでも新様式へ移行していただくと幸いです。

### 今回の申込書(図1)の改定点について

- ・旧様式では、お口のチェックシートと歯科訪問診療申込書2枚を依頼者であるご家族やケアマネージャー、介護スタッフに記載していただいていた。今回は依頼者の記載項目を減らすために**2枚→1枚へ枚数を変更しています**。
- ・誤嚥性肺炎の既往の有無など、これまで問診で尋ねていた項目を増やしています。

**申込書を記載のうえ、依頼先の歯科医院へご連絡下さい(TEL&FAXなど)。**

### 申込書(様式1)のダウンロード方法①、②について

①鹿児島県歯科医師会のHPからダウンロードできます(図2)。歯科医療連携室の「詳しく見る」をクリックし、当該ページからダウンロードして下さい。

② 図3に示しているとおり、お口いきいき診療連携システムと検索エンジンに入力すると鹿児島県HPまたは在宅支援センターHPがヒットしますので、各HP上からダウンロードできます。

訪問歯科診療が円滑に行えるように作成している書式ですので、是非ご活用ください。

また、訪問診療後に歯科から発行する報告書も今回、改定しています。報告書では、口腔図を大きくし、病巣の部位やケア時の留意点がご家族や介護スタッフに伝達しやすくしています。

今後も多職種連携を深めていきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。(文責:薩摩郡歯科医師会 福岡 宏士)

図1: 訪問歯科診療申込書(様式1)  
各項目に口ボックスに☑チェックする簡易的な様式です。

図2: お口いきいき診療連携システムのダウンロード方法①



## 令和5年度 在宅医療・介護連携推進 多職種意見交換会

～先進的な取り組みに学ぶ～



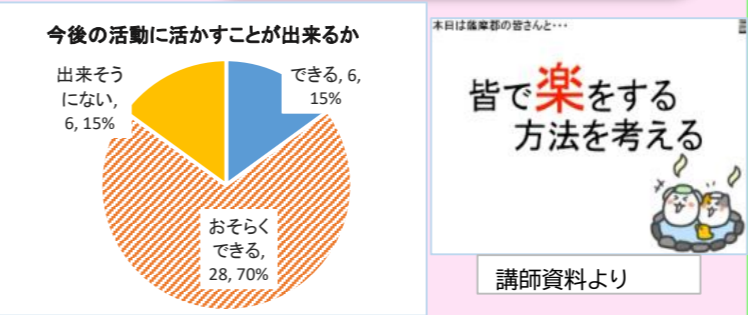
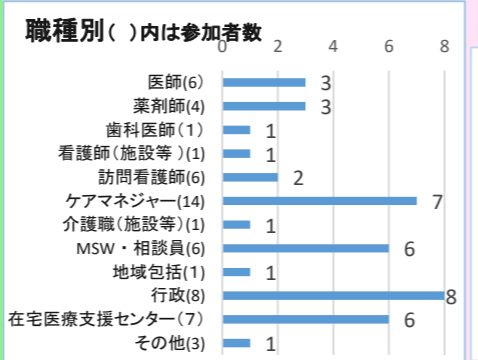
令和5年4月15日 in SSプラザせんだい

- 会次第
1. 開会のあいさつ
  2. 講演  
「たまな在宅ネットワーク」の取り組みについて  
講師: 一般社団法人玉名郡都市医師会 事務局・連携事業部 永杉 憲弘 氏
  3. 質疑・応答
  4. グループワーク  
テーマ: 一人でも多くの方に、一日でも長く「わが家」での生活を続けるために  
『だれでも気負わず関われる在宅医療』の実現  
～川薩地区における在宅または施設での看取り等の課題～
  5. 総評
  6. 閉会のあいさつ

### 意見交換会アンケート結果

参加者数: 会場 32名、オンライン 27名  
合計 59名

アンケート回収数: 会場 22名、オンライン18名  
合計 40名 (回収率 67.8%)



ご意見・ご感想(一部ご紹介)

- ・高齢化率が40%を超える地域で在宅サービスに関わらせていただいておりますが、人材不足、ご利用者様のニーズと合うサービスが不足していると、日々感じていました。意見交換の場で他施設の方と話ができてとても充実した時間となりました。【相談員】
- ・この様な多職種連携の会議に参加出来て勉強になりました。限られた資源を繋いで再編する時期に来ていると思います。薩摩川内市でもさつま町でも同様に対応できるシステムづくりを期待し、協力したいと思います。【ケアマネジャー】
- ・在宅医療については件数は少しずつ増えていると感じていた。終末期だけでなく、病院に行けない等の理由も増えていると思います。実際に動いているネットワークを知る事ができて良かったです。自分だけでは思いつかない職種ならではの視点があり、勉強になりました。【ケアマネジャー】
- ・玉名郡市がどのようにして、少なく、限られた人から在宅ネットワークの立ち上げに繋げていったのか学ばい機会になりました。また、多職種の方と意見交換を行う事で、それぞれの職種がどのようなことを課題に感じているのか、共有するいい機会になりました。【行政】
- ・多職種連携がキーワードになるかと思いました。それぞれの職種の活動内容を把握してお願いできる場所はしていき、お互いの情報共有が重要と感じました。いろいろハードルはあるかと思いますが実現できたら素晴らしいワンチームになると感じました。【薬剤師】

## 会員医療機関のご紹介

地域の皆さまに「寄り添う病院」を目指して

稲津内科病院  
5月1日 開院

稲津秀穂: 内科医  
稲津真穂人: 循環器内科医

INATSU

この度、稲津病院は、稲津内科病院と名称を改められました。新たに2人の内科医を迎え、医師3人体制で在宅医療にも力をいれ、より質の高い医療と患者様の心身の健康のため取り組んで行かれるとのことです(案内ちらしより一部抜粋させて頂きました)

【診療科目】  
内科  
循環器内科・心臓内科  
消化器内科・糖尿病内科  
リハビリテーション科

【診療案内】

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30-12:30	●	●	●	●	●	●
午後 13:30-17:30	●	●	●	●	●	●

【休診日】日曜・祝日  
時間外急患の方はお電話下さい。

TCL 0996 52 3355

## 令和5年度第1回薩摩郡医師会 在宅医療推進作業部会(4/21)



令和5年度第1回在宅医療推進作業部会が開催されました。新たに6名の方に委員となって頂きました。よろしくお願い致します。会議では、多職種意見交換会の報告を行った後、在宅歯科医療連携マニュアルについて川薩保健所よりご説明頂きました。活用方法は、本広報紙でも福岡先生よりご説明頂いておりますので、ご一読下さい。27名の委員にご出席いただき、令和5年度の活動計画についても話し合っていました。

## 【センターよりお知らせ】

令和5年度版在宅医療・介護資源ガイドブックがまもなく完成いたします。今回は新規事業所の開設情報などがあり、配布が昨年と比較し遅くなっており、皆様方にはご迷惑をお掛け致しております。完成次第お届けいたしますので、よろしくお願い致します。また、6月30日には感染対策研修会を予定しております。皆さま方のご参加よろしくお願い致します。